

十勝岳の火山活動解説資料

札幌管区气象台
火山監視・情報センター

<噴火予報（噴火警戒レベル1：平常）が継続>

4日15時頃から5日0時過ぎにかけて規模の小さな火山性地震が増加しました。その他のデータには特段の異常は認められません。

十勝岳では、直ちに噴火に至る兆候はみられませんが、火山活動が高まっているため、今後の活動の推移に注意が必要です。

活動概況

4日15時頃から5日0時過ぎにかけて規模の小さな火山性地震が増加しました。（図3～5）

震源は62-2火口付近の浅いところと推定されます。（図4）

なお、この地震活動に前後して火山性微動は発生しておらず、遠望カメラによる監視では、62-2火口及び大正火口の状況に特段の変化は認められません。（図2）

活動評価

十勝岳では、ここ数年山体浅部の膨張や大正火口の噴煙量および地震回数の増加、火山性微動の発生、発光現象などが観測されており、長期的にみると火山活動は高まる傾向にあります。

今回の地震活動によって直ちに噴火に至るとは考えていませんが、火山活動が高まっているため、今後の活動の推移に注意が必要です。

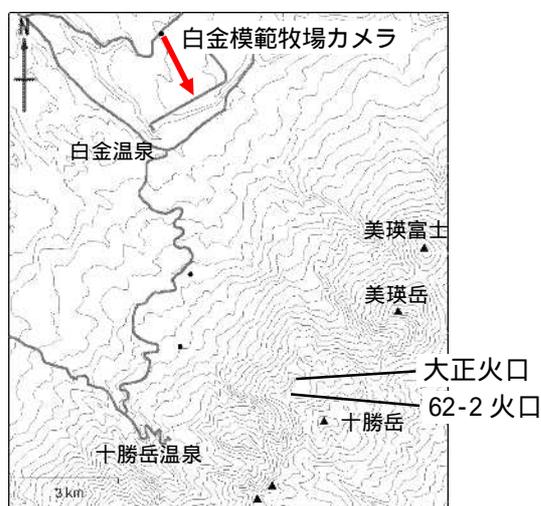


図1 十勝岳 遠望カメラ位置
及び撮影方向（赤矢印）



図2 十勝岳 北西側から見た山頂の状況
（図1の矢印方向より撮影）

この火山活動解説資料は札幌管区气象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

資料は気象庁のほか、北海道及び北海道大学のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。

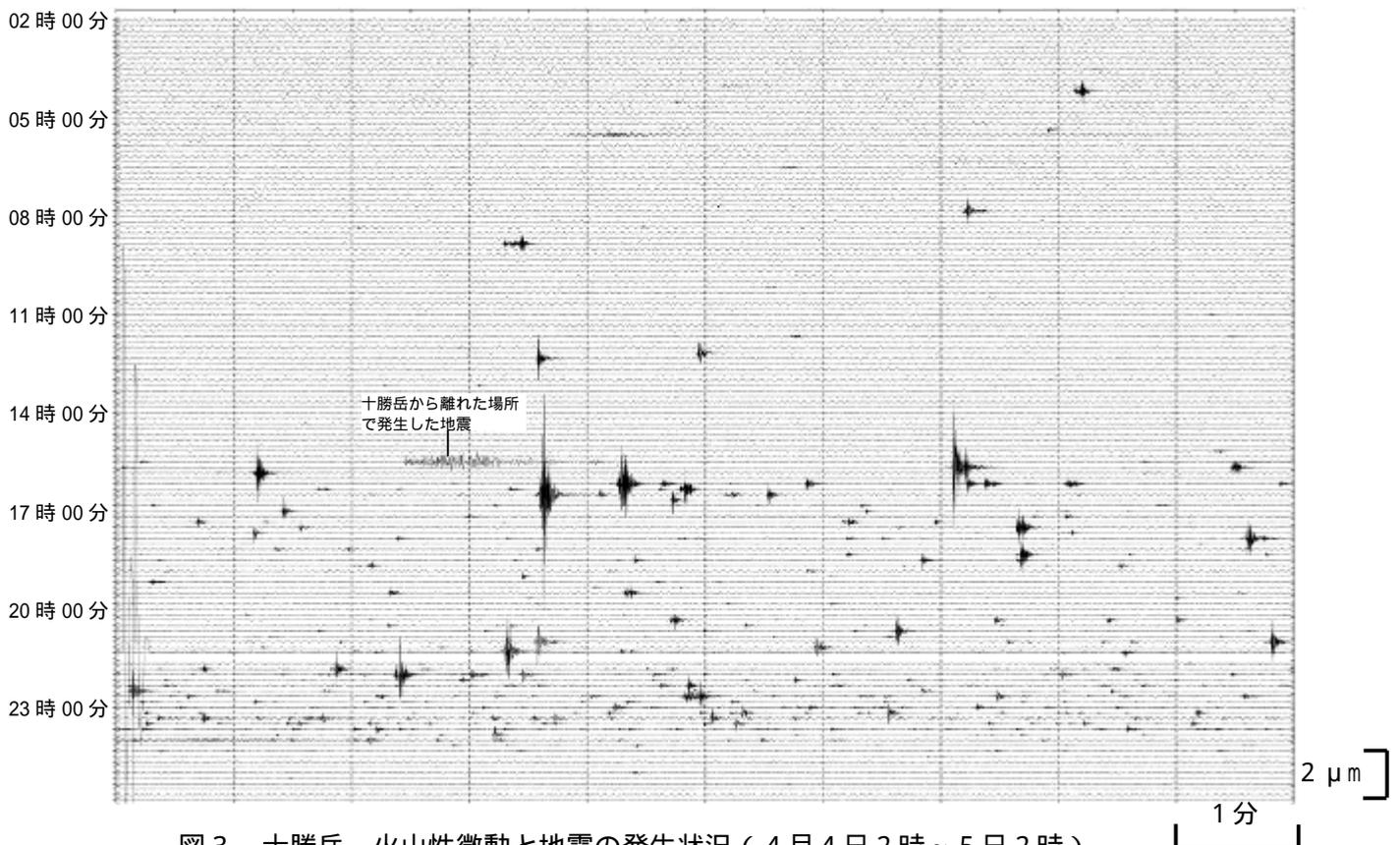


図 3 十勝岳 火山性微動と地震の発生状況（4月4日2時～5日2時）
・避難小屋東（活動火口に近い観測点）による
地震回数：4日134回、5日8時まで4回（暫定値）

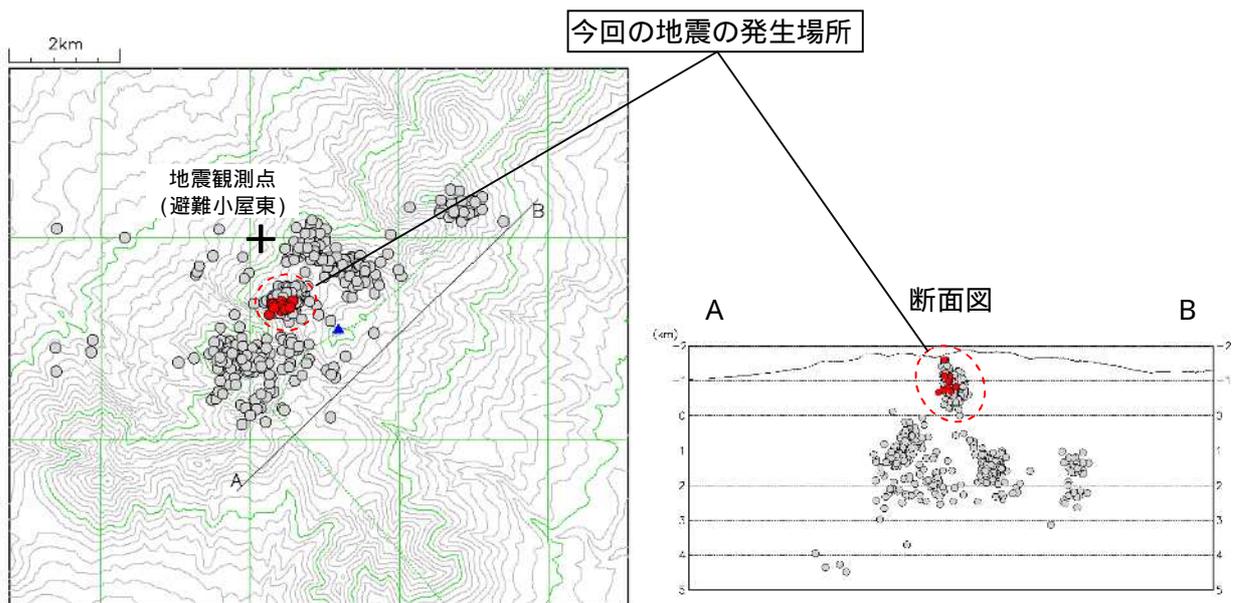


図 4 十勝岳 震央分布図（暫定値）
印：2013年1月～2015年4月3日の震源
印：2015年4月4日～5日の震源

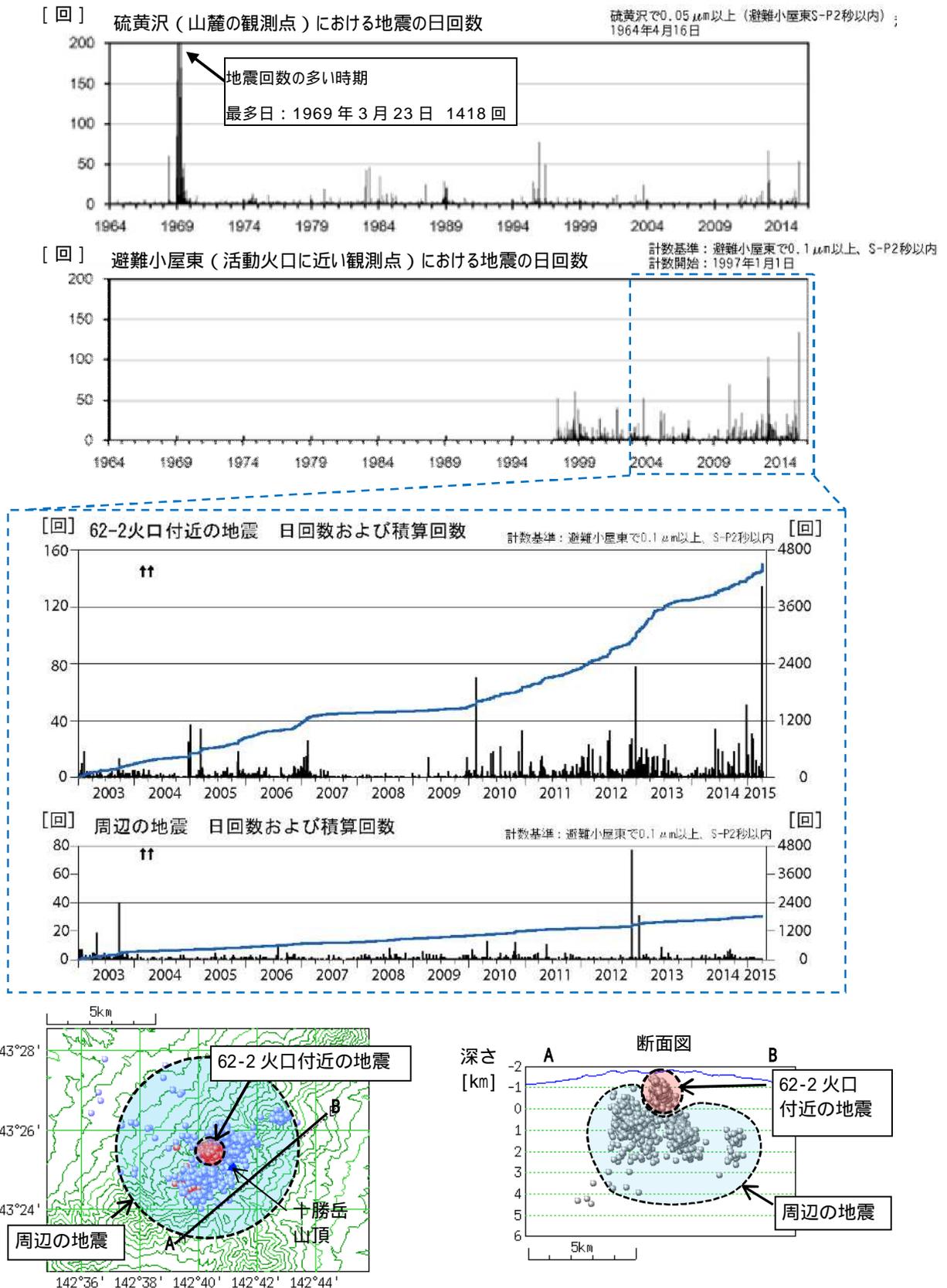


図5 十勝岳 地震の日回数の推移
発生場所別の火山性地震の日回数及び積算回数推移（2003年1月～2015年4月5日8時）
・計測基準：避難小屋東で $0.1 \mu\text{m}$ 以上、S-P時間2秒以内の火山性地震です
・青線は積算回数を示します
・はごく小規模な噴火の発生を示します
・下図は「62-2火口付近の地震」と「周辺の地震」の概ねの範囲を示しています